

## 宇土市の子育て支援策とその認知度

熊本県立宇土高等学校

2年 水元 杏香 松川 佳弘 濱崎 杏莉 坂本 翔真

## 要旨

昨今の少子化問題について私たちの住む宇土市もその例外ではない。それを抑制するには宇土市の子育て支援策の認知度を高めると良いのではないかと考え、宇土市が行っている支援策を調査し、保育園の保護者の方にそれらの認知度と利用度に関するアンケートを行った。すると、ある程度知っているという人は多いものの、利用したことがある人は少ないという結果が得られ、支援策の認知度をさらに高め、利用してもらうには広報誌に支援策の情報を掲載すればよいのではないかと考えた。

## 1. 目的

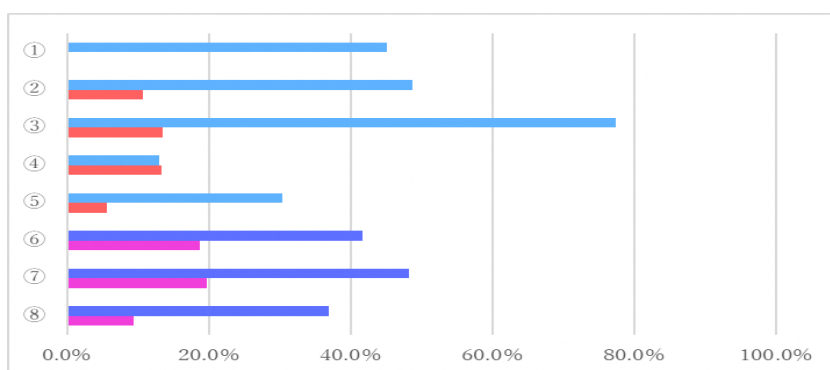
日本全体における少子化を受け、様々な対策が取られているものの、少子化問題が解決できていないのはなぜか疑問に思った。本研究では、子育てがしづらいという風潮は、子育て世代の少子化対策への認知度が低いからではないか、という仮説を立て、対策の認知度を高めるにはどうすればよいか、調査・考察することにした。

## 2. 方法

1. 宇土市の「子育て支援課」の方に話を聞き、宇土市がどのような事業を行っているのかを調べる。
2. 1を受けて宇土市の4つの保育園（轟保育園、ひかり保育園、夜間保育所肥後っ子保育園、小規模保育所A型宇土っ子）の園児の保護者の方に、宇土市内で実施されている子育て支援策について「知っている」または「利用したことがある」の2つの項目を尋ねる。

## 3. 結果

1. 子育て支援課の方に話を聞いたところ、以下のような希望すれば利用できる支援策(①~⑧)があることが分かった。
  - ① 産後ママサポート(産後生活支援事業)
  - ② 宇土市ファミリーサポートセンター
  - ③ 病児・病後児保育施設パンダ
  - ④ ショートステイ・トワイライトステイ
  - ⑤ ひとり親家庭等日常生活支援
  - ⑥ 就学援助制度
  - ⑦ ひとり親家庭への支援
  - ⑧ 障がいのある子どもの支援
2. 1をふまえて、その認知度と利用状況について、アンケート調査を行ったところ以下の結果が得られた。  
(アンケート対象者 115名)



上段…認知度 下段…利用度

全体の認知度は47.3%、利用状況は14.4%となり、宇土市が行っている子育て支援策をある程度知っている人は多いが、利用したことがある人は少ないという結果が分かった。

## 4. 考察

「子供を預ける」「ヘルパーが家庭に派遣される」という内容のサービス(①~⑤)が「資金や手当を受け取れる」という内容のサービス(⑥~⑧)よりも利用度が低かったのは、  
○他人より身内の人のほうが安心して子供を預けられる

○行政サービスに頼らなくても身内で対応できる場合が多い  
○金銭的な援助のほうに需要がある  
などが推測される。

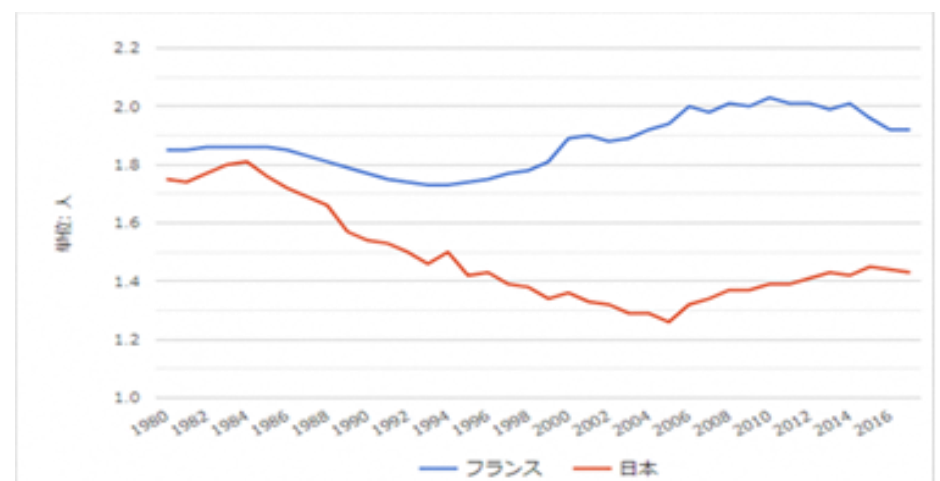
これらのことから以下のような「対応案」を考えた。

- ① 預ける側の不安を解消するために事前に預かる側の人と本人同士がコミュニケーションをとる。
- ② 利用度を上げるために、ポイントカードのようなものを作って、①~⑧のような「希望すれば利用できる子育て支援策」を利用するとポイントがたまり、一定のポイントで宇土市内の店舗や施設のサービスが利用できる制度をつくる。
- ③ 広報誌に実際に利用した人の感想や意見を掲載する。

②は宇土市の財源の確保や、店舗や施設との連携等の問題点が挙げられる一方、③はサービスをより身近に感じるきっかけとなり、認知度・利用度をともに高めるためにも有効であると思う。

また、先進国の中で少子化を克服したことで知られるフランスの取り組みを調べてみると「家族的保育園」が大きく関係していることが分かった。この家族的保育園では、園長の元保育士や母親アシスタント(保育ママ)が、一人当たり子ども3人の配置で保育をしている。だが「家族的保育園」の開園時間は午前8時半~11時までの2時間半のみで、しかも子どもたちが通園するのは週に2回だけで、ここの園児は、「家族的保育園」に通園する時間以外(午後と平日の残り3日)は、保育ママの家で過ごしている。

保育ママはフランス最大の保育手段で、託児児童数は団体保育園より多い。つまり、宇土市の「ファミリーサポート」は理に適っているのではないかと考えた。



(参考) フランスと日本の合計特殊出生率の推移

## 5. 感想

宇土市が行っている「子育て支援策」を知り、いくつかの保育園の保護者の方に支援策の認知度についてのアンケート調査を行ったことで宇土市の実状を知ることができた。また、宇土市には今回取り上げた8項目以外にもたくさんの支援策があるので、まずは現在ある支援策を市民の方に知ってもらい、各々が必要とするサービスを利用していくことでより快適な暮らしができると思う。そして、そのサービスの充実度を高めることで宇土市の少子化が少しでも抑制されることを願う。

## 6. 参考文献

- ・宇土市発行「健やか宇土っ子」
- ・世界経済のネタ帳
- ・HUFFPOST